

見守り 新鮮情報

第178号

事例1 **ガスコンロ**の火を消そうとしたとき、肩から羽織っていたポリエステル製の**カーディガンの袖**に火が燃え移った。袖の火はすぐに手で消したが、いつのまにか**後ろ**まで火が回っていて、**背中**をやけどした。

(70歳代 女性)

事例2 **仏壇**の電球を替えていた際に、**ろうそくの火**が洋服に燃え移った。自分で水をかけ火を消したが、**おなか**や**もも**にやけどを負い、**入院**した。(70歳代 女性)



注意!

服に火が燃え移ってやけど!

ひとこと助言

気をつけてね!



見守るくん

- ガスコンロやろうそくなどの火が衣類に着火してやけどをしたという報告が寄せられています。特に高齢者は重症になる場合も多く注意が必要です。
- ほかにも、たばこやライターの火が服に燃え移ったケースもあります。
- 調理等で火を使う際は、袖やすそが広がっている衣類やルーズなデザインの服装は避け、火に近づき過ぎないようにしましょう。
- 防災性能のあるエプロンやアームカバーなどを身に着けるのも一つの方法です。
- 服に火がついてしまった場合は、台所のくみ置きなど身近な水で消火しましょう。慌てて走り出すと風にあおられて炎が大きくなるので注意が必要です。